

平成30年度 特定非営利活動法人みのり福祉会 事業報告

特定非営利活動法人みのり福祉会

1. 本部

名称 特定非営利活動法人 みのり福祉会
住所 佐倉市江原台1-2-20

2. 目的

この法人は、障害を抱える人々に対して、保健、福祉の向上を図る事業を行い、障害者が地域で自立して生活できるよう支援することを目的とする。

3. 事業内容

<障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業>

- ・共同生活援助事業（平成21年 4月 1日 事業開始）
※（介護サービス包括型に平成27年 3月 1日に変更）
- ・就労移行支援事業（平成21年 7月 1日 事業開始）
- ・就労継続支援B型（平成25年 8月 1日 事業開始）
（平成30年 7月 1日 事業開始）
- ・就労定着支援事業（平成30年 4月 1日 事業開始）
- ・相談支援事業（平成25年 2月 1日 事業開始）

<児童福祉法に基づく福祉サービス事業>

- ・放課後等デイサービス、児童発達支援事業
（平成25年 4月 1日 事業開始）
（平成26年10月 1日 事業開始）
（平成30年 4月 1日 事業開始）

<地域生活支援事業>

- ・日中一時支援事業
（平成21年 6月 1日 事業開始） 四街道市
（平成21年 7月 1日 事業開始） 佐倉市
（平成21年 8月 1日 事業開始） 成田市
（平成22年 4月 1日 事業開始） 芝山町
（平成22年 4月28日 事業開始） 富里市
（平成23年 6月 1日 事業開始） 八街市
（平成25年 7月 1日 事業開始） 船橋市
- ・移動支援事業
（平成21年 6月 1日 事業開始） 四街道市、佐倉市
（平成22年 3月31日 事業開始） 成田市
（平成22年 4月 1日 事業開始） 芝山町
（平成22年 6月 7日 事業開始） 富里市
（平成22年 9月 1日 事業開始） 八街市

<その他、この法人の目的を達成するために必要な事業>

- ・レスパイト事業（独自サービス）

4. 理事会の開催

第1回 理事会

日時 平成30年6月10日（日）10：00～12：00、14：00～15：00

場所 ミレニアムセンター佐倉4F 第3・4会議室

内容

- (1) 平成29年度みのり福祉会 事業報告、決算報告について
- (2) 平成30年度みのり福祉会 事業計画（案）、予算（案）について
- (3) 平成29年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
ひまわり事業報告、決算報告について
- (4) 平成30年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
ひまわり 事業計画（案）、予算（案）について
- (5) 平成29年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
くろーばー事業報告、決算報告について
- (6) 平成30年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
くろーばー 事業計画（案）、予算（案）について
- (7) 平成30年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
そら 事業計画（案）、予算（案）について
- (8) 平成29年度相談支援事業 らしんばん 事業報告、決算報告について
- (9) 平成30年度相談支援事業 らしんばん 事業計画（案）、予算（案）について
- (10) 平成29年度独自サービス（レスパイト）事業 事業報告、決算報告について
- (11) 平成30年度独自サービス（レスパイト）事業
事業計画（案）、予算（案）について
- (12) 平成29年度共同生活援助事業 みのりほーむ1～5 事業報告、決算報告について
- (13) 平成30年度介護サービス包括型共同生活援助事業 みのりほーむ1～5
事業計画（案）、予算（案）について
- (14) 平成29年度就労移行支援事業 ピース 事業報告、決算報告について
- (15) 平成30年度就労移行支援事業 ピース 事業計画（案）、予算（案）について
- (16) 平成29年度就労継続支援B型事業
青空協同組合 事業報告、決算報告について
- (17) 平成30年度就労継続支援B型事業
青空協同組合 事業計画（案）、予算（案）について
- (18) 平成29年度日中一時支援事業 事業報告、決算報告について
- (19) 平成30年度日中一時支援事業 事業計画（案）、予算（案）について
- (20) 平成29年度移動支援事業 事業報告、決算報告について
- (21) 平成30年度移動支援事業 事業計画（案）、予算（案）について
- (22) 平成29年度監査報告
- (23) 定款変更について
- (24) 役員改選について
- (25) その他
・ 新入職員紹介

5. 総会の開催

第1回総会

日時 平成30年6月10日（日）13：00～14：00

場所 ミレニアムセンター佐倉4F

内容

- (1) 平成29年度みのり福祉会 事業報告、決算報告について
- (2) 平成30年度みのり福祉会 事業計画（案）、予算（案）について
- (3) 平成29年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
ひまわり事業報告、決算報告について
- (4) 平成30年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
ひまわり 事業計画（案）、予算（案）について
- (5) 平成29年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
くろーばー事業報告、決算報告について
- (6) 平成30年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
くろーばー 事業計画（案）、予算（案）について
- (7) 平成30年度放課後等デイサービス／児童発達支援事業
そら 事業計画（案）、予算（案）について
- (8) 平成29年度相談支援事業 らしんばん 事業報告、決算報告について
- (9) 平成30年度相談支援事業 らしんばん 事業計画（案）、予算（案）について
- (10) 平成29年度独自サービス（レスパイト）事業 事業報告、決算報告について
- (11) 平成30年度独自サービス（レスパイト）事業
事業計画（案）、予算（案）について
- (12) 平成29年度共同生活援助事業 みのりほーむ1～5 事業報告、決算報告について
- (13) 平成30年度介護サービス包括型共同生活援助事業 みのりほーむ1～5
事業計画（案）、予算（案）について
- (14) 平成29年度就労移行支援事業 ピース 事業報告、決算報告について
- (15) 平成30年度就労移行支援事業 ピース 事業計画（案）、予算（案）について
- (16) 平成29年度就労継続支援B型事業
青空協同組合 事業報告、決算報告について
- (17) 平成30年度就労継続支援B型事業
青空協同組合 事業計画（案）、予算（案）について
- (18) 平成29年度日中一時支援事業 事業報告、決算報告について
- (19) 平成30年度日中一時支援事業 事業計画（案）、予算（案）について
- (20) 平成29年度移動支援事業 事業報告、決算報告について
- (21) 平成30年度移動支援事業 事業計画（案）、予算（案）について
- (22) 平成29年度監査報告
- (23) 定款変更について
- (24) 役員改選について
- (25) その他
・新入職員紹介

6. 理事・監事

- [1] 理事長 立田 芳弘 佐倉市
任期 H30. 4. 1～R2. 3. 31 職業 元特別支援学校教員
- [2] 副理事長 川嶋 司朗 四街道市
任期 H30. 4. 1～R2. 3. 31 職業 元障害者施設長
- [3] 副理事長 穴澤 悦子 四街道市
任期 H30. 4. 1～R2. 3. 31 職業 四街道市手をつなぐ親の会会長
- [4] 理事 長澤 隆壽 栄町

	任期	H30.4.1～R2.3.31	職業	元特別支援学校 校長
[5]	理事	伊藤 澄子 佐倉市		
	任期	H30.4.1～R2.3.31	職業	元佐倉市手をつなぐ親の会会長
[6]	理事	持田 共子 八街市		
	任期	H30.4.1～R2.3.31	職業	NPO法人やちまた放課後クラブぶらんこ 理事長
[7]	理事	時田 幸江 成田市		
	任期	H30.4.1～R2.3.31	職業	成田市ことばと心を育む親の会会長
[8]	理事	伊藤 光子 酒々井町		
	任期	H30.4.1～R2.3.31	職業	酒々井町手をつなぐ育成会会長
[9]	理事	遠藤 富子 市原市		
	任期	H30.4.1～R2.3.31	職業	元特別支援学校教員
[10]	監事	野路 明生 佐倉市		
	任期	H30.4.1～R2.3.31	職業	県職員

7. 今年度のまとめ

- 安心・安全をモットーに利用する方の生活づくりに努めることにより、利用する方の事故や車輛事故が減った。
- 利用する方が「明日も来たい」と思えるような支援を行なったが、事業所によってバラツキが見られた。
- 常に費用対効果を考え、支援計画、行事、作業等の見直しを計り節約をしたが、十分な節約には至らなかった。
- 福祉協会、他団体、県、市町村等の様々な研修に参加し、資格の取得を行った。また福祉サービス事業所のおかれている現状について学び、事業所運営に活かした。
- 内部研修として、新人研修（転職組も含めて）、管理者研修、事業所研修を充実させた。新人研修については管理者が講師になり、テーマに基づき指導した。施設間研修についてはできなかった。
- 社会貢献として、第2回みのりフェスタを開催した。入場者数は増えた。
- 生活介護事業所の開設を考えたが、法人の運営状況が厳しく見送った。
- 会員・賛助会員の増員を図ったが、伸び悩んだ。今後はどのようにアピールするか検討していきたい。
- 放課後等デイサービスそらの開設をした。
- 社会福祉法人の認可に向けて、NPO法人から社会福祉法人に移行した団体から話を伺った。
- 独自サービス（レスパイト）事業を実施し、支援が行き届かない方の支援を行った。保護者から好評を得ている。
- 求人難のため、人材募集の工夫を計ったが、なかなか確保することが難しかった。
- 福祉サービス事業の見直しを図るため、ピースに就労継続B型支援、就労定着支援事業を追加した。また経費削減するためにピースをそらの1階に移転した。
- ピース移転費用、報酬単価の減額等により、日本政策金融公庫から1,000万円を借り入れた。（月々の返済は12万円程度）
- ほ一む3が老朽化の為移転を考え、建築会社と話を進めている。
- 助成金を活用し、玩具を購入した。